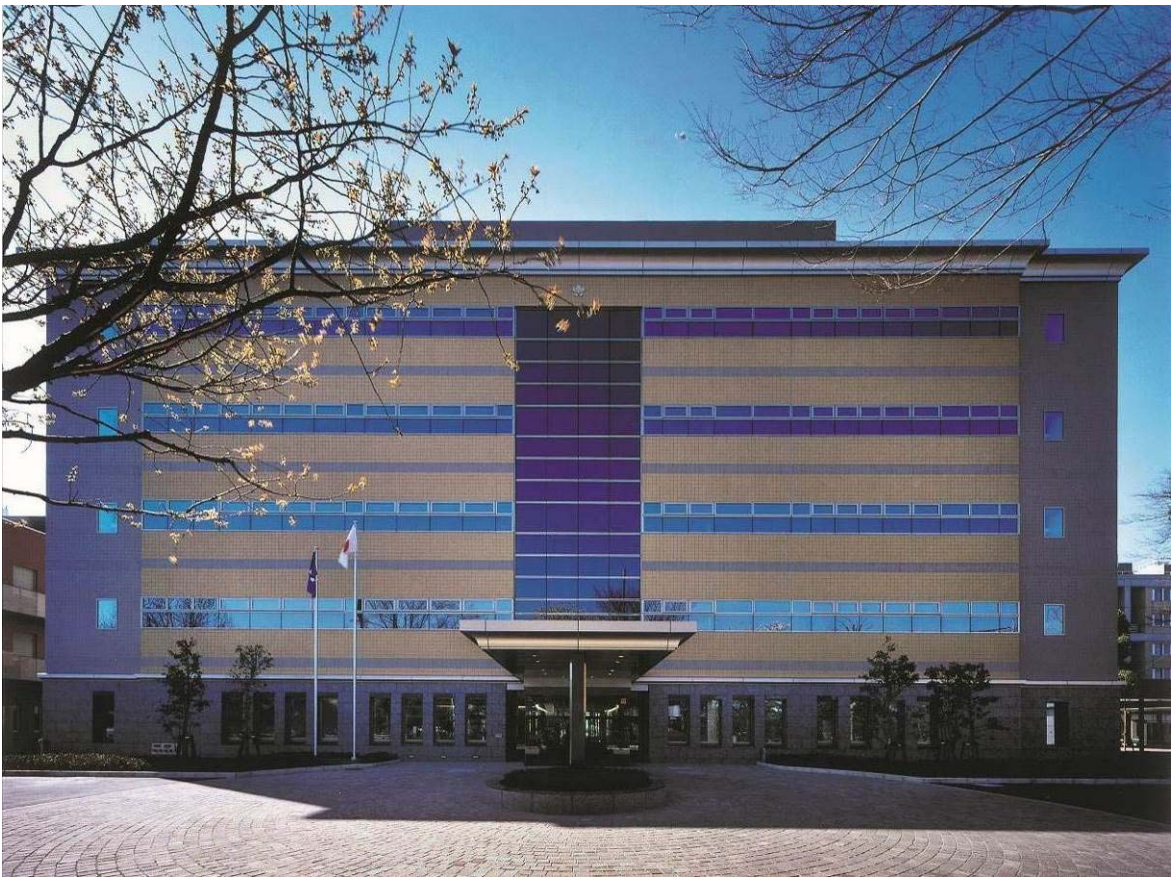




平成 31 年度

教育訓練実施要領



消防大学校

目 次

【平成 31 年度 学科・実務講習に関する教育訓練実施要領】	1
1 教育訓練計画	1
(1) 学科計画	1
(2) 実務講習計画	3
2 入校・受講資格	5
(1) 共通事項	5
(2) 学科・実務講習ごとの入校・受講資格	6
① 学 科	6
② 実務講習	8
3 入校・受講手続	10
(1) 学科の入校手続	10
(2) 実務講習の受講手続	10
(3) 提出書類	11
(4) 提出先	11
(5) 各種様式	12
様式 1 学科申告書（消防団長科を除く）	12
様式 2 学科申告書（消防団長科）	16
様式 3 実務講習申告書	18
様式 4 被服等サイズ表	20
4 入校経費	21
5 e-ラーニング学習推奨環境	22
6 その他	23
(1) 携行品	23
(2) 入校・受講受付等	24
【平成 31 年度 特別研究生に関する教育訓練実施要領】	25
【消防大学校へのアクセス】	26

【 平成 31 年度 学科・実務講習に関する教育訓練実施要領 】

1 教育訓練計画

平成 31 年度における消防大学校の教育訓練は、次により実施する。

(1) 学科計画

① 概要

区分	目的	主な内容	成績評価	e-ラーニング	
総合教育	幹部科	消防に関する高度の知識及び技術を総合的に修得させ、消防の上級幹部たるに相応しい人材を養成する。	○ 行政動向全般、消防関係法制、組織運営、実務研究 ○ 大規模災害時の現場指揮理論、多様な指揮訓練、図上訓練	有	有
	上級幹部科	消防に関する高度の知識及び技術を総合的に修得させ、現に消防の上級幹部である者の資質を向上させる。	○ 行政動向全般、消防実務管理、危機管理 ○ 図上訓練、指揮シミュレーション		
	新任消防長・学校長科	新任の消防長・消防学校長に対し、その職に必要な知識及び能力を総合的に修得させる。	○ 行政動向全般、危機管理 ○ 指揮訓練、図上訓練、指揮シミュレーション		
	消防団長科	消防団の上級幹部に対し、その職に必要な知識及び能力を総合的に修得させる。	○ 消防団運営、女性消防団活動 ○ 行政動向、消防実務管理、安全管理、図上訓練		
専科教育	警防科	警防業務に関する高度の知識及び技術を専門的に修得させるとともに、教育指導者等としての資質を向上させる。	○ 警防活動の多様な理論・事例・戦術、指揮訓練、図上訓練 ○ 教育技法、講義演習	有	有
	救助科	救助業務に関する高度の知識及び技術を専門的に修得させるとともに、教育指導者等としての資質を向上させる。	○ 救助活動の多様な理論・事例・技術・戦術、指揮訓練 ○ 訓練の企画・運営演習	有	
	救急科	救急隊長等に対し、高度の知識及び能力を総合的に修得させるとともに、指導者としての資質を向上させる(指導救命士養成教育を含む。)	○ 救急活動の多様な理論・事例・技能訓練 ○ 訓練の企画・運営演習・救命士再教育(課題研究)	有	
	予防科	予防業務に関する高度の知識及び技術を専門的に修得させるとともに、教育指導者等としての資質を向上させる。	○ 予防業務に関する行政動向・法制、燃焼理論、性能規定、防火査察、防火管理その他火災予防の制度 ○ 教育技法、講義演習	有	有
	危険物科	危険物保安に関する高度の知識及び技術を専門的に修得させるとともに、教育指導者等としての資質を向上させる。	○ 危険物保安に関する行政動向・技術基準・性能規定、企業防災 ○ 危険物物理化学・材料工学の理論、実務研究・演習	有	
	火災調査科	火災調査業務に関する高度の知識及び技術を専門的に修得させるとともに、教育指導者等としての資質を向上させる。	○ 火災調査概論、燃焼理論、火災調査の現場運営・鑑識要領、模擬家屋調査実習、訴訟対応 ○ 教育技法、講義演習	有	
	新任教官科	新任の消防学校教育訓練担当職員等に対し、その職に必要な知識及び能力を専門的に修得させる。	○ 教育心理学、教育技法、講義演習 ○ 消防実務管理、安全管理、実務研究		
現任教官科	現任の消防学校教育訓練担当職員等に対し、業務運営の企画及び予防業務又は警防業務を包括的に指導できる能力を向上させる。	(総務・予防) ○ 行政動向全般、実務研究 (警防) ○ 安全管理、訓練の企画・運営演習			

② 留意点

ア 所定の学科を修了したと認めた学生に対し、卒業証書を授与する。

イ 欠席時間数が当該学科の時間数の4分の1を超える者については、原則として所定の学科を修了したと認めない。

ウ 入校に当たり、事前に課題を課すことがある(学科ごとに個別に通知する。)

エ 成績評価を実施する学科は効果測定を行い、成績評価の結果は任命権者に通知する。

③ 開催期ごとの定員・日程

区 分	定員 (名)	入寮 日数 (日)	教育 総時間 (時間)	e-ラー ニング 科目数 (科目)	入校関係手続日程			入寮期間 (e-ラーニング期間)		
					書類締切 日(※1)	許可通知 予定日 (※2)	入校 受付日			
総合教育	幹部科	第 57 期	60	46	226	30	H31/1/10 (木)	H31/1/11 (金)以降	H31/6/11 (火)	H31/6/11(火)～7/26(金) (1/24(木)～5/30(木))
		第 58 期	60	47	226	30	H31/2/12 (火)	H31/2/26 (火)	H31/8/19 (月)	H31/8/19(月)～10/4(金) (4/3(水)～8/7(水))
		第 59 期	60	50	226	30	H31/3/26 (火)	H31/5/7 (火)	H31/10/9 (水)	H31/10/9(水)～11/27(水) (5/24(金)～9/27(金))
		第 60 期	60	50	226	30	H31/7/2 (火)	H31/8/2 (金)	H32/1/9 (木)	H32/1/9(木)～2/27(木) (8/24(土)～12/28(土))
	上級幹部科	第 83 期	54	17	86	-	H31/10/11 (金)	H31/11/15 (金)	H32/1/15 (水)	H32/1/15(水)～1/31(金)
	新任消防長・ 学校長科	第 26 期	42	11	60	-	別途通知		H31/4/16 (火)	H31/4/16(火)～4/26(金)
		第 27 期	60	11	60	-	別途通知		H31/5/13 (月)	H31/5/13(月)～5/23(木)
	消防団長科	第 75 期	36	5	30	-	H31/5/31 (金)	H31/6/28 (金)	H31/8/26 (月)	H31/8/26(月)～8/30(金)
		第 76 期	36	5	30	-	H31/8/23 (金)	H31/9/20 (金)	H31/11/18 (月)	H31/11/18(月)～11/22(金)
	専科教育	警防科	第 105 期	60	50	240	4	H31/3/7 (木)	H31/4/4 (木)	H31/6/5 (水)
第 106 期			60	51	240	4	H31/7/18 (木)	H31/8/19 (月)	H31/10/17 (木)	H31/10/17(木)～12/6(金) (9/13(金)～10/12(土))
救助科		第 79 期	60	57	240	-	H31/3/1 (金)	H31/3/15 (金)	H31/4/11 (木)	H31/4/11(木)～6/6(木)
		第 80 期	60	51	240	-	H31/5/17 (金)	H31/6/21 (金)	H31/8/22 (木)	H31/8/22(木)～10/11(金)
救急科		第 81 期	48	32	149	-	H31/6/18 (火)	H31/7/16 (火)	H31/9/17 (火)	H31/9/17(火)～10/18(金)
予防科		第 106 期	48	51	240	7	H31/4/24 (水)	H31/5/22 (水)	H31/8/22 (木)	H31/8/22(木)～10/11(金) (6/19(水)～8/17(土))
		第 107 期	48	52	240	7	H31/9/4 (水)	H31/10/2 (水)	H32/1/8 (水)	H32/1/8(水)～2/28(金) (11/5(火)～1/3(金))
危険物科		第 14 期	42	31	149	-	H31/4/17 (水)	H31/5/15 (水)	H31/6/26 (水)	H31/6/26(水)～7/26(金)
火災調査科		第 37 期	48	50	240	-	H31/4/10 (水)	H31/5/8 (水)	H31/6/5 (水)	H31/6/5(水)～7/24(水)
		第 38 期	48	51	240	-	H31/7/25 (木)	H31/9/5 (木)	H31/10/17 (木)	H31/10/17(木)～12/6(金)
新任教官科		第 13 期	60	11	60	-	H32/1/7 (火)	H32/2/3 (月)	H32/3/3 (火)	H32/3/3(火)～3/13(金)
現任教官科 (総務・予防)		第 3 期	36	5	32	-	H32/1/7 (火)	H32/2/3 (月)	H32/3/2 (月)	H32/3/2(月)～3/6(金)
現任教官科 (警防)		第 3 期	36	5	32	-	H32/1/7 (火)	H32/2/3 (月)	H32/3/9 (月)	H32/3/9(月)～3/13(金)

※1 「書類締切日」は、都道府県から消防大学校に対する入校推薦・書類提出の締切日であり、当該日必着のこと。

※2 「許可通知予定日」は、消防大学校から都道府県に対する入校許可の旨の通知予定日である。ただし、追加提出された関係書類の手続きにより遅れることがあること。

(2) 実務講習計画

① 概要

区分	目的	主な内容	オンライン	
緊急消防援助隊教育科	指揮隊長コース	緊急消防援助隊の指揮支援部隊長等に対し、その業務に必要な知識及び能力を修得させる。	○ 緊急消防援助隊の部隊運用・指揮要領、NBC 災害、航空隊と地上部隊の連携、図上訓練	
	高度救助・特別高度救助コース	高度救助隊、特別高度救助隊の隊長等に対し、その業務に必要な知識及び能力を修得させる。	○ 高度資機材の取扱い訓練、高度救助活動の現場管理、実務研究	
	NBCコース	緊急消防援助隊のNBC災害要員等に対し、NBC 災害対応業務に必要な知識及び能力を修得させる。	○ NBC 災害の初動対応、活動技術、活動訓練、図上訓練 ○ NBC 災害対応部隊活動の実務研究	有
	航空隊長コース	消防・防災航空隊の隊長等に対し、その業務に必要な知識及び能力を修得させる。	○ 航空隊の運用・活動統制、広域応援、航空隊と地上部隊の連携、航空隊員の育成	
危機管理・防災教育科	危機管理・国民保護コース	地方公共団体の危機管理・防災実務管理者・国民保護担当者等に対し、その業務に必要な知識及び能力を修得させる。	○ 危機管理・防災、国民保護に関する行政動向、多様な図上訓練、実務研究	
	自主防災組織育成コース	自主防災組織の育成担当者等に対し、その業務に必要な高度な知識及び能力を修得させる。	○ 自主防災活動の推進、話し方技法、多様な図上訓練、事例研究	
	自主防災組織育成短期コース	自主防災組織の育成業務に携わる担当職員に対し、その業務に必要な基礎的知識及び能力を修得させる。	○ 自主防災活動の推進、図上訓練	
	消防団活性化推進コース	消防団の加入促進や教育訓練等充実強化業務に携わる者に対し、その業務に必要な実務的な知識及び能力を修得させる。	○ 消防団法制、運営、予算、消防団用資機材に関する訓練指導、安全管理、課題研究	
その他	女性活躍推進コース	女性消防吏員の幹部候補生に対し、キャリア形成を支援し、職域拡大等を目的とした知識及び能力を修得させる。	○ 女性消防吏員のキャリアパス、ロールモデル事例、消防実務管理、指揮訓練、課題研究	有
	査察業務マネジメントコース	消防本部の予防業務を主管する係長以上の者に対し、違反処理を始めとする査察業務全般をマネジメントするために必要な知識及び能力を修得させる。	○ 予防業務に関する行政動向、査察業務のマネジメント、関係法令等知識、課題討議	

② 留意点

- ア 所定の実務講習を修了したと認めた学生に対し、修了証を授与する。
- イ 欠席時間数が当該実務講習の時間数の4分の1を超える者については、原則として所定の実務講習を修了したと認めない。
- ウ 受講に当たり、事前に課題を課すことがある（実務講習ごとに個別に通知する。）。

③ 開催回ごとの定員・日程

区分	定員 (名)	入寮 日数 (日)	教育 総時間 (時間)	受講関係手続日程			入寮期間 (e-ラーニング期間)		
				書類 締切日 (※1)	許可通知 予定日 (※2)	受講 受付日 (※3)			
緊急消防援助隊教育科	指揮隊長コース	第 21 回	48	11	60	H31/2/25 (月)	H31/3/18 (月)	H31/4/15 (月)	H31/4/15(月)~4/25(木)
		第 22 回	48	11	60	H31/3/12 (火)	H31/4/9 (火)	H31/5/7 (火)	H31/5/7(火)~5/17(金)
	高度救助・特別高度救助コース	第 9 回	66	12	67	H31/12/16 (月)	H32/1/20 (月)	H32/3/2 (月)	H32/3/2(月)~3/13(金)
	NBCコース	第 9 回	72	23	102	H31/11/6 (水)	H31/12/4 (水)	H32/2/4 (火)	H32/2/4(火)~2/26(水) (1/1(水)~1/30(木))
	航空隊長コース	第 19 回	84	12	67	H31/9/30 (月)	H31/10/28 (月)	H31/12/2 (月)	H31/12/2(月)~12/13(金)
危機管理・防災教育科	危機管理・国民保護コース	第 9 回	96	8	39	H31/2/20 (水)	H31/3/20 (水)	H31/4/17 (水)	H31/4/17(水)~4/24(水)
	自主防災組織育成コース	第 15 回	72	5	32	H31/4/5 (金)	H31/4/22 (月)	H31/5/27 (月)	H31/5/27(月)~5/31(金)
	自主防災組織育成短期コース	第 9 回	64	—	7 月頃通知予定				
		第 10 回	64	—	同上				
	消防団活性化推進コース	第 5 回	48	5	32	H31/8/26 (月)	H31/9/24 (火)	H31/10/28 (月)	H31/10/28(月)~11/1(金)
		第 6 回	48	5	32	H31/11/18 (月)	H31/12/16 (月)	H32/1/20 (月)	H32/1/20(月)~1/24(金)
その他	女性活躍推進コース	第 4 回	52	9	46	H31/8/28 (水)	H31/9/25 (水)	H31/12/12 (木)	H31/12/12(木)~12/20(金) (10/24(木)~12/7(土))
	査察業務マネジメントコース	第 3 回	48	5	32	H31/3/18 (月)	H31/4/15 (月)	H31/5/27 (月)	H31/5/27(月)~5/31(金)

※1 「書類締切日」は、都道府県から消防大学校に対する入校推薦・書類提出の締切日であり、当該日必着のこと。

※2 「許可通知予定日」は、消防大学校から都道府県に対する受講許可の旨の通知予定日である。ただし、追加提出された関係書類の手続きにより遅れることがあること。

2 入校・受講資格

平成 31 年度における消防大学校の教育訓練の入校・受講に必要な要件（以下「入校・受講資格」という。）は次のとおりとする。ただし、校長が特別の事情があると認めるときは、(1)①及び③を除き、入校・受講資格に該当しない者の入校・受講を認めることができる。

(1) 共通事項

- ① 入校・受講資格の有無の判断基準日は、以下のとおり。
 - ア 年齢：平成 31 年 4 月 1 日現在とする。なお、年齢超過については、上記の「特別の事情」としては認めないので留意すること。
 - イ 年齢以外：入校受付日又は受講受付日とする。
- ② 入校・受講資格の要件を満たす者は、従来どおり男女の性別に隔たりなく入校・受講できること。
- ③ 入校・受講しようとする学科・実務講習の全課程を修了し得る学力及び体力(※)を有すること。任命権者は、推薦者が入寮及び修学に耐えうる健康状態であるか、健康診断書等（所属機関の定期健康診断や人間ドックの結果表等）により確認すること（消防大学校への個人の健康診断書等の提出は不要）。
※ 学科（消防団長科を除く）並びに実務講習のうち緊急消防援助隊教育科及び女性活躍推進コースについては実科訓練を実施するため特に健康状態に留意すること。
- ④ 消防本部区分関係
 - ア 幹部科、上級幹部科又は専科教育への推薦者は、消防学校又は消防大学校における研修経歴（学科は問わない。）を有していること。
 - イ 消防大学校卒業後、消防学校講師等として教育・訓練への協力が見込まれる者を優先すること。
- ⑤ 消防学校区分関係
 - ア 消防本部等から消防学校への教職員派遣予定者や消防学校着任 1 年目の者など、消防大学校卒業後に消防学校での教育に十分反映できる者を優先すること。
 - イ 消防学校教官として派遣されている者を派遣期間の最終年度に入校推薦する場合は、消防大学校での教育訓練課程修了後、当該消防学校に 6 か月以上の在任期間を有していること。
 - ウ 派遣期間中の消防大学校への入校は、現任教官科、消防団活性化推進コース及び女性活躍推進コースを除き、1 回のみとすること。



(2) 学科・実務講習ごとの入校・受講資格

次に掲げる各表の入校・受講資格に該当すること。

① 学 科
【総合教育】

	〈消防本部〉	〈消防学校〉
幹部科	<p>【上限年齢：50歳】</p> <p>1 次のいずれかに該当する者</p> <p>(1) 消防司令の階級の者又は平成31年度に消防司令の階級となる予定の者</p> <p>(2) 消防吏員の数が300人未満又は人口30万人未満の消防本部において、5年以上消防司令補の階級にある者</p> <p>【年齢限定：51～52歳】</p> <p>2 消防吏員数が300人未満又は人口30万人未満の消防本部において、消防司令の階級の者又は平成31年度に消防司令の階級となる予定の者</p>	<p>消防学校(都道府県が設置したもの及び政令指定都市が設置したものを指す。以下同じ。)において教育訓練に従事している者又はその予定者(※)で、次のいずれかに該当する者</p> <p>1 平成31年度又は平成32年度において消防学校の幹部課程を担当する者</p> <p>2 左記消防本部区分における1の要件を満たしている者</p> <p>※ 消防学校へ教員として派遣される予定の者を含む。以下同じ。</p>
上級幹部科	<p>【上限年齢：消防長 58歳、その他 55歳】</p> <p>消防長、消防署長又はこれと同等以上の職にある者(消防本部の課長職以上の職にある者を含み、消防署の副署長を含まない)</p>	<p>次のいずれかに該当する者</p> <p>1 消防学校の学校長又は副校長</p> <p>2 都道府県消防学校において教育訓練に従事している者又はその予定者で、課長補佐又はこれと同等以上の職にある者</p>
・新任消防長科	<p>従前消防吏員でなかったが、新たに消防長となった者</p> <p>※ 新任消防長のうち、消防吏員として消防事務に従事した経験がなく、新たに消防長に就任した者を対象とした研修であること(「新任消防長の教育訓練の見直しについて」(平成22年9月10日付け消防消第222号消防庁消防・救急課長通知)等参照)</p>	<p>従前消防吏員でなかったが、新たに消防学校長となった者</p>

	〈消防団〉
消防団長科	<p>消防団長又は副団長の階級にある者</p> <p>※ 消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律(平成25年12月13日法律第110号)が公布・施行され、消防団に対する期待が高まっていることから、入校実績がない若しくは少ない消防団を有する市町村等においては、積極的な入校の検討が望ましいこと</p>

【専科教育】

	〈消防本部〉	〈消防学校〉
警防科	<p>【上限年齢：45歳】</p> <p>次のいずれかに該当する者</p> <p>1 消防司令補以上の階級にあり、かつ、警防業務に従事している者で、次のいずれかに該当する者</p> <p>(1) 消防学校において警防専科教育を受講した者</p> <p>(2) 警防業務の実務経験が3年以上の者</p> <p>2 消防吏員の数が100人未満又は人口10万人未満の消防本部において、3年以上消防士長の階級にあり、かつ、警防業務に従事している者で、次のいずれかに該当する者</p> <p>(1) 消防学校において警防専科教育を受講した者</p> <p>(2) 警防業務の実務経験が3年以上の者</p>	<p>消防学校において警防業務に関する教科を担当している者又はその予定者</p>



	〈消防本部〉	〈消防学校〉
救助科	<p>【 上限年齢： 45 歳 】</p> <p>次のいずれかに該当する者</p> <p>1 消防士長以上の階級にあり、かつ、救助業務に従事している者で、次のいずれかに該当する者</p> <p>(1) 消防学校において救助専科教育を受講した者</p> <p>(2) 救助業務の実務経験が 3 年以上の者</p> <p>2 救助隊長の職にある者</p>	消防学校において救助業務に関する教科を担当している者又はその予定者
救急科	<p>【 上限年齢： 50 歳 】</p> <p>救急救命士の資格を有し、次のいずれかに該当する者</p> <p>1 消防司令補以上の階級にあり、次のいずれかに該当する者</p> <p>(1) 救急隊長の職にある者</p> <p>(2) 消防本部において、救急業務の指導・監督的立場にある者</p> <p>2 消防吏員の数が 100 人未満又は人口 10 万人未満の消防本部において、3 年以上消防士長の階級にあり、次のいずれかに該当する者</p> <p>(1) 救急隊長の職にある者</p> <p>(2) 消防本部において、救急業務の指導・監督的立場にある者</p>	救急救命士の資格を有し、消防学校において救急業務に関する教科を担当している者又はその予定者
予防科	<p>【 上限年齢： 45 歳 】</p> <p>次のいずれかに該当する者</p> <p>1 消防司令補以上の階級にあり、かつ、予防業務(危険物保安業務を除く。以下同じ。)に従事している者で、次のいずれかに該当する者</p> <p>(1) 消防学校において予防査察専科教育を受講した者</p> <p>(2) 予防業務の実務経験が 3 年以上の者</p> <p>2 消防吏員の数が 100 人未満又は人口 10 万人未満の消防本部において、3 年以上消防士長の階級にあり、かつ、予防業務に従事している者で、次のいずれかに該当する者</p> <p>(1) 消防学校において予防査察専科教育を受講した者</p> <p>(2) 予防業務の実務経験が 3 年以上の者</p> <p>※ 予防業務の実務に関する知識が備わっていることを前提に教育カリキュラムを編成しているため、予防技術資格者や予防業務に精通する者などが望ましいこと</p>	消防学校において予防業務に関する教科を担当している者又はその予定者
危険物科	<p>【 上限年齢： 45 歳 】</p> <p>消防士長以上の階級にあり、かつ、危険物保安業務に従事している者で、次のいずれかに該当する者</p> <p>1 学校教育法による大学若しくは高等専門学校において化学に関する学科若しくは課程を修めて卒業した者又はこれと同等以上の学力を有する者</p> <p>2 消防学校において危険物専科教育を受講した者</p> <p>3 危険物保安業務の実務経験が 3 年以上の者</p>	消防学校において危険物保安業務に関する教科を担当している者又はその予定者
火災調査科	<p>【 上限年齢： 45 歳 】</p> <p>消防士長以上の階級にあり、かつ、火災調査業務に従事している者で、次のいずれかに該当する者</p> <p>1 消防学校において火災調査専科教育を受講した者</p> <p>2 火災調査業務の実務経験が 3 年以上、かつ、火災原因判定書の作成実績が 5 件以上の者</p>	消防学校において火災調査業務に関する教科を担当している者又はその予定者

	〈消防学校〉
新任 教官科	消防学校において教育訓練に従事する者(平成 32 年 4 月 1 日以降に着任が予定されている者に限る)
現任 教官科	<p>1 総務・予防 消防学校において教育訓練に従事している者(平成 32 年 10 月 1 日以降まで在任が予定されている者に限る)で、業務運営又は予防業務に関する教科等を担当している者</p> <p>2 警防 消防学校において教育訓練に従事している者(平成 32 年 10 月 1 日以降まで在任が予定されている者に限る)で、警防業務に関する教科等を担当している者</p>



② 実務講習

【緊急消防援助隊教育科】

	〈消防本部〉	〈消防学校〉
指揮隊長 コース	次のいずれかに該当する者 1 緊急消防援助隊の指揮支援部隊長、指揮支援隊長、都道府県大隊長又は都道府県大隊指揮隊長である者 2 上記の交代要員等として指定される者 ※ 緊急消防援助隊の全国統一的な運用の観点から、対象者が早期に受講できることが望ましいこと	
高度救助・ 特別高度 救助コース	高度な資機材を装備し、又は装備する予定である救助隊の隊長若しくは指導・監督的な立場である者又はそれらの予定者	
NBC コース	防護服その他のNBC 災害対応資機材を装備する隊の隊長若しくは隊員である者又はそれらの予定者 ※ 大規模イベント開催を控えた NBC 災害対応能力の向上を主眼として実施しているため、ラグビーワールドカップ 2019 をはじめとした大規模イベント開催予定地の消防本部は積極的な受講の検討が望ましいこと	消防学校における NBC 災害に関する課程を担当し、専管的に授業にあたる者又はその予定者

【危機管理・防災教育科】

	〈都道府県・政令指定都市航空隊〉
航空隊長 コース	次のいずれかに該当する者 1 消防防災航空隊の隊長、副隊長又はパイロットである者 2 消防司令補以上の階級にある者又は指導・監督的な立場にある者

	〈一般行政〉	〈消防本部〉	〈消防学校〉
危機管理・ 国民保護 コース	都道府県及び市町村の危機管理、防災又は国民保護業務を担当する課長又は課長補佐（これらと同等の職にある者を含む）	市町村の危機管理、防災又は国民保護業務を担当する消防本部の課長又は課長補佐の者（これらと同等の職にある者を含む）	防災拠点の役割を有する消防学校の危機管理、防災又は国民保護業務を担当する副校長又は課長（これらと同等の職にある者を含む）
自主防災 組織育成 コース	自主防災組織を指導・育成する都道府県又は市町村の担当職員	市町村の自主防災組織の指導・育成業務を担当する消防本部の職員	自主防災組織を育成する役割を有する消防学校の担当職員又はその予定者
自主防災 組織育成 短期コース	同上	同上	同上
	※ 業務に必要な基礎的知識及び能力の修得を目的としているため、担当経験 2 年以下の者を対象とすること		
消防団 活性化 推進コース	消防団の加入促進や教育訓練等充実強化業務に携わる都道府県又は市町村の担当職員	市町村の消防団の加入促進や教育訓練等充実強化業務に携わる消防本部の担当職員	消防団の教育訓練に携わる担当職員又はその予定者



【そ の 他】

	〈消防本部〉 〈消防学校〉
女性活躍 推進コース	<p>【 上限年齢： 45 歳 】</p> <p>次のいずれかに該当する者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 消防司令補又は消防士長の階級にある女性消防吏員 2 消防吏員の数が 100 人未満又は人口 10 万人未満の消防本部において、10 年以上の職務経験を有する女性消防吏員 <p>※ 46 歳以上の女性消防吏員は、幹部科、上級幹部科、救急科への入校を検討されたい</p>
	〈消防本部〉
査察業務 マネジメントコース	<p>消防本部の予防業務を所管する課室で、違反処理をはじめとする査察業務全般を主管する係長以上の職にある者</p> <p>※ 査察業務全般をマネジメントするために必要な高度な知識及び能力の修得を目的とすることから、現在各消防本部において指導的役割を担っている予防業務担当者の積極的な受講の検討が望ましいこと</p>

3 入校・受講手続

(1) 学科の入校手続

① 都道府県による入校推薦

- ア 都道府県は、消防大学校長に対して入校推薦を行うに当たり、次の点を確認すること。
- (ア) 都道府県内の推薦者の数が、消防大学が当該都道府県に通知した当該学科の当該期の入校受入れ数以下であること。（推薦者数が入校受入れ数を下回ることが判明したときは、すみやかに消防大学に連絡すること。）
 - (イ) 推薦者は、当該推薦者の任命権者の推薦に基づいていること。
 - (ウ) 推薦者が当該学科の入校資格を満たしていることについて、任命権者の確認を受けていること。

イ 都道府県は、消防大学校長に対し、各学科の各期の書類締切日までに(3)に掲げる書類を提出（必着）すること。

② 消防大学による入校審査及び入校許可の通知

消防大学校長は、入校推薦者の資格審査を行い、資格要件を満たす場合はこれを許可し、都道府県に対して入校許可の通知を行う。

③ 入校許可後の手続

ア 入校許可者の所属消防本部等は、「4 入校経費」に掲げる入校経費を、振込締切日までに所定の方法で納入すること。

イ 入校許可者は、入校前に消防大学から送付する関係資料を確認し、必要な準備を行うこと。

ウ 幹部科、警防科及び予防科の入校許可者は、入校前に「e-ラーニング」（「5 e-ラーニング学習推奨環境」参照）を受講すること。

(2) 実務講習の受講手続

① 都道府県による受講申請

- ア 都道府県は、消防大学校長に対して受講申請を行うに当たり、次の点を確認すること。
- (ア) 都道府県内の申請者の数が、消防大学が当該都道府県に通知した当該実務講習の当該回の受講受入れ数以下であること。（申請者数が受講受入れ数を下回ることが判明したときは、すみやかに消防大学に連絡すること。）
 - (イ) 申請者は、当該申請者の任命権者の推薦に基づいていること。
 - (ウ) 申請者が当該実務講習の受講資格を満たしていることについて、任命権者の確認を受けていること。

イ 都道府県は、消防大学校長に対し、各実務講習の各回の書類締切日までに(3)に掲げる書類を提出（必着）すること。

② 消防大学による受講審査及び受講許可の通知

消防大学校長は、申請者の資格審査を行い、資格要件を満たす場合はこれを許可し、都道府県に対して受講許可の通知を行う。

③ 受講許可後の手続

ア 受講許可者の所属消防本部等は、「4 入校経費」に掲げる入校経費を、振込締切日までに所定の方法で納入すること。

イ 受講許可者は、受講前に消防大学校から送付する関係資料を確認し、必要な準備を行うこと。

ウ NBC コース及び女性活躍推進コースの受講許可者は、受講前に「e-ラーニング」（「5 e-ラーニング学習推奨環境」参照）を受講すること。

(3) 提出書類

① 学科

ア 消防団長科以外の学科

「様式1：学科申告書(団長科除く)」及び「様式4：被服等サイズ表」

イ 消防団長科

「様式2：学科申告書(団長科用)」及び「様式4：被服等サイズ表」

② 実務講習

「様式3：実務講習申告書」及び「様式4：被服等サイズ表」

※1 消防学校区分での入校推薦者及び受講推薦者については、当該者の平成32年度の消防学校教育訓練計画又は入校・受講希望課程に関する計画及び事務分掌表等を添付すること。

※2 実務講習のうち、危機管理・国民保護コース・自主防災組織育成コース・消防団活性化コースは、申請者の所属が各コースに係る業務を担当する根拠(組織関係規則の抜粋等)及び申請者本人が各コースに係る業務を担当する根拠(事務分掌の抜粋等)を様式に記入若しくは書類を添付すること。

※3 必要に応じ、関係書類の提出を求める場合があること。
(詳細は後述の「記入例」参照)

(4) 提出先

○ 電子データによる提出(公印省略)先

消防大学校教務部 共有アドレス：fdmc-k@soumu.go.jp

○ 紙文書による提出(押印)先

〒182-8508 東京都調布市深大寺東町4-35-3

消防大学校教務部あて TEL：0422-46-1711(代表)

(5) 各種様式

様式 1

学科申告書（消防団長科を除く）

(表)

入校希望学科	科 第 期 (入校受付日:平成 年 月 日)		都道府県	資格区分	<input type="checkbox"/> 消防本部 <input type="checkbox"/> 消防学校
	(ふりがな)氏名				<p>(写真)</p> <p>※上半身,脱帽,制服着用 (タテ 50×ヨコ 45mm)</p>
生年月日	昭和・平成 年 月 日				
年齢 (H31.4.1現在)	歳	性別	<input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女		
(ふりがな)自宅	住所	(〒 -)			
	TEL	- -	FAX	- -	
公用のE-mailアドレス					
最終学歴					
所属機関	(ふりがな)名称				
	住所	(〒 -)			
	TEL	- -	FAX	- -	
抱負・目標	-----				

任命権者 職氏名	(公印省略可)			任命権者確認日	年 月 日

所属機関 名 称				本人 氏名	(裏)	
職 務	職 名	行政 組織 上	直前	平成 年 月から [(所属機関名及び)部局名] [職名]		
			現在	平成 年 月から [(所属機関名及び)部局名] [職名] [勤務形態]		
			予定	平成 年 月から [(所属機関名及び)部局名] [職名] [勤務形態]		
	災害活動上		平成 年 月から			
	階 級		平成 年 月から			
緊急消防 援助隊登録						
職歴概要						
消防学校 及び 消防大学校 研修経歴						
学科ごとの 特記事項	入校資格の 要件					
	資格等					
その他						



【入校受付日時】で記入すること
 ※ただし、年齢については、【H31.4.1 現在】とする

様式 1

【記入例】学科申告書（消防団長科を除く）

○県航空隊所属等で区分が無い場合はチェック不要

(表)

入校希望学	警防科第●●期 (入校受付日:平成31年●月●日)		都道府県	○○県	資格区分	<input checked="" type="checkbox"/> 消防本部 <input type="checkbox"/> 消防学校
	(ふりがな) 氏名	しょうぼう だいがく 消防 大学		(写真) ※上半身, 脱帽, 制服着用 (タテ 50×ヨコ 45mm) ○着帽のまま撮影しないよう留意 ○一般行政職員など、制服が無い場合はスーツ着用 ○電子データによる提出の場合は、画像データを貼付		
本人	生年月日	昭和 平成 49年 10月 1日		○記入誤り・記入漏れが無いよう留意		
	年齢 (H31.4.1 現在)	44 歳	性別	<input checked="" type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女		
	(ふりがな) 住所 自宅	(〒182 - 8508) とうきょうと ちょうふし じんだいがく じまち 東京都調布市深大寺東町 4-35-3		○消防大学校との連絡等に使用する【公用アドレス】を記入 ○公用アドレスは課室等の共有アドレスも可 ○私用アドレス・携帯アドレスは不可		
	TEL	0422 - 46 - 1711	FAX	0422 - 46 - 1988		
	公用のE-mailアドレス	shobodaigaku_soumu@soumu.go.jp				
最終学歴	平成9年3月 ○○大学○○学部○○学科 (又は ○○高校○○科) 卒業					
所属機関	(ふりがな) 名称	しょうぼうだいがくしょうぼうほんぶ 消防大学消防本部		○正式な名称を記入のこと【省略不可】 例) ◎◎広域行政事務組合消防本部 等 ○一般行政の場合は「◎◎県」、「◎◎市」等		
	住所	(〒100 - 8926) 東京都千代田区霞が関 2-1-2				
	TEL	03 - 1234 - 5678	FAX	03 - 1234 - 8765		
抱負・目標	○各課程の概要を踏まえた上で、次の点を具体的かつ詳細に記入すること ・入校を希望する学科の内容を、現在又は今後就任予定の職務にどのように役立てたいか ・重点的に取り組みたいことは何か					
任命権者 職氏名	山田 太郎 (公印省略可)		任命権者確認日	平成●年●月●日		



○ 資格要件の「予定者」に該当する者及び「入校受付日」時点で資格要件を満たす者は、異動予定年月及び役職等を必ず記入すること
 ○ あわせて「入校資格の要件」欄にもその旨記載すること
 ○ 具体的な就任予定時期が未定の場合は、資格要件の「予定者」には該当しない

様式 1
(裏)

所名	属機関称	消防大学消防本部		本人氏名	消防大学	
職名	行政組織上	直前	平成 25 年 4 月から	〔所属機関名及び〕部局名 本部警防課	〔職名〕 主査	
		現在	平成 28 年 4 月から	〔所属機関名及び〕部局名 本部警防課警防係	〔職名〕 係長	〔勤務形態〕 2 部交代制
		予定	平成 31 年 4 月から	〔所属機関名及び〕部局名 総務県消防学校	〔職名〕 助教授	〔勤務形態〕 毎日勤務
	災害活動上	平成 28 年 4 月から	消防署指揮隊長	○ 現職で災害活動に従事する者は、災害活動上の職を記入すること (例) ○○中隊長、○○小隊長、隊員など		
階級		平成 28 年 4 月から	消防司令	○ 現在の階級を記入すること (階級を有していない場合は記入不要)		
職	緊急消防援助隊登録	指揮隊	○ 緊急消防援助隊に登録されている者は、登録部隊名を記入すること			
務	職歴概要	○ 業務年数、実績等は資格審査の基準であるため、採用時から現在の職まで正確に記入すること (例：警防科の場合) 平成 9 年 4 月消防吏員採用、○平成 9 年 10 月消防署消防小隊隊員、○平成 12 年 4 月本部警防課係員、 ○平成 15 年 4 月同課主任、平成 17 年 4 月消防署主任、 △平成 21 年 4 月消防署主査、○平成 25 年 4 月本部警防課主査、 ○平成 28 年 4 月本部警防課係長 合計 ○11 年 7 月、△4 年 ○ 入校受付日時点での経験年数を記入 ○ 合計年数を記入 ○ 専科教育(新任教官科及び現任教官科を除く)の者は、資格要件の実務経験年数の確認のため、必ず年月の前に以下の記号を付すこと ・ ○：主たる業務であった期間 ・ △：従たる業務であった期間 ※1 主たる業務及び従たる業務でない場合は記号不要 ※2 主たる業務であった期間と従たる業務であった期間を「実務経験年数」とする				
	消防学校及び消防大学校研修経歴	・平成 9 年 4 月～10 月 総務県消防学校初任科修了 ・平成 19 年 1 月 消防大学校自主防災組織育成コース修了 ・平成 26 年 8 月～10 月 総務県消防学校警防科修了 ○ 入校資格要件が「消防学校における専科教育の受講」の場合は、当該専科教育の経歴に下線を付すこと ○ 過去の研修経歴(課程等は問わない)を正確に記入				
学科ごとの特記事項	入校資格の要件	【消防本部区分】 ○ 以下の場合、入校資格の要件を記入すること(関係書類の添付でも可) ① 幹部科・警防科・救急科・予防科のうち、「消防吏員数」及び「人口」を含めた入校資格該当者 ⇒ 所属消防本部の消防吏員数及び管内人口 ② 幹部科のうち、平成 31 年度に消防司令の階級となる予定の者 ⇒ 昇任予定年月 ③ 救急科 ⇒ 救急救命士の資格取得年月日 ④ 火災調査科 ⇒ 火災原因判定書の作成件数 ⑤ 「入校受付日」時点で資格要件を満たす者 ⇒ 資格を満たす日及び資格要件の内容 (①の例) 消防吏員数●人、管内人口●人 (②の例) 平成 31 年●月 消防司令(予定) (③の例) 救急救命士(平成●年●月●日取得) (④の例) 出火原因判定書●件 (⑤の例) 平成 31 年●月●●の実務経験 3 年経過 ○ H32 年度以降派遣予定で当該年度の訓練計画未作成の場合は、担当予定の科(教科)及び派遣予定期間を記入すること(専科教育は、担当教科が資格要件である)				
	資格等	●●●● ●級、●●検定 等 ○ 入校希望の学科に係る業務に関連する資格や、大会出場経験があれば簡潔に記入すること(審査への影響はない)				
その他	消防本部移転のため、●月●日から所在地が変更 新住所：〒..... TEL：変更無し その他申告したい事項があれば記入すること					

学科申告書（消防団長科）

入校希望期	第 _____ 期 (入校受付日：平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日)		都道府 県			
本人	(ふりがな) 氏名			<p align="center">(写真)</p> <p>※上半身, 脱帽, 制服着用 (タテ 50×ヨコ 45mm)</p>		
	生年月日	昭和・平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日				
	年齢 (H31.4.1 現在)	歳	性別		<input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女	
	(ふりがな) 自宅	住所	(〒 -)			
		TEL	- -		FAX	- -
	E-mail アドレス					
職業						
所属消防団	(ふりがな) 名称	[市区町村名から] _____		消防団		
	住所	(〒 -)				
	TEL	- -	FAX	- -		
消防団経験	現階級	<input type="checkbox"/> 消防団長 <input type="checkbox"/> 副団長				
	団歴概要	<hr/> <hr/> <hr/>				
	消防学校 研修経歴					
その他						
任命権者 職氏名			任命権者確認日	年 月 日		
	(公印省略可)					

【入校受付日時点】で記入すること
 ※ただし、年齢については、【H31.4.1現在】とする

様式2

【記入例】学科申告書（消防団長科）

入校希望期	第 <u>75</u> 期(入校受付日：平成 31 年●月●日)		都道府 県	●●●●	
本人	(ふりがな) 氏名	しょうぼう だいがく 消防 大学		(写真) ※上半身,脱帽,制服着用 (タテ 50×ヨコ 45mm) ○着帽のまま撮影しないよう留意 ○一般行政職員など、制服が無い場合はスーツ着用 ○電子データによる提出の場合は、画像データを貼付	
	生年月日	昭和 一 平成 29 年 10 月 1 日			
	年齢 (H30.4.1 現在)	64 歳	性別		<input checked="" type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女
	(ふりがな) 自宅	住所 とうきょうと ちやうふし じんたいじひがしまち 東京都調布市深大寺東町 4-35-3			
	TEL	03 - 1234 - 5678	FAX		03 - 1234 - 8765
	E-mail アドレス	shobodaigaku_soumu@soumu. go. jp			○入校前に入校予定者本人との連絡に利用可能なアドレスがあれば記入すること ○携帯アドレスは不可
職業	自営業				
所属消防団	(ふりがな) 名称	[市区町村名から] <u>●●●市</u> 消防団			
	住所	(〒 100 - 8926) 東京都千代田区霞が関 2-1-2			
	TEL	03 - 1234 - 5678	FAX	03 - 1234 - 8765	
消防団経験	現階級	<input type="checkbox"/> 消防団長 <input checked="" type="checkbox"/> 副団長			
	団歴概要	○消防団歴を記入すること 平成 4 年 2 月入団、平成 12 年 4 月班長、平成 15 年 4 月部長、平成 18 年 4 月副分団長、平成 21 年 4 月分団長、平成 24 年 4 月副団長、平成 28 年 4 月団長			
	消防学校 研修経歴	平成 4 年 10 月(4 日間) ○○県消防学校消防団警防科修了 平成 26 年 10 月(2 日間) ○○県消防学校消防団中級幹部科修了 ○過去の研修経歴（課程等は問わない）を正確に記入すること			
その他	○その他申告したい事項があれば記入すること				
任命権者 職氏名	山 田 太 郎 (公印省略可)		任命権者確認日	平成●年●月●日	

実務講習申告書

受講希望 コース等	第 _____ 回 (受講受付日：平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日)		都道府県		資格区分	<input type="checkbox"/> 消防本部 <input type="checkbox"/> 消防学校 <input type="checkbox"/> 一般行政		
	本人	(ふりがな) 氏名			生年月日	昭和・平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日		
(ふりがな) 自宅		住所	(〒 -)		年齢	歳	性別	<input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女
		TEL	- -		FAX	- -		
公用の E-mail アドレス								
所属機関	(ふりがな) 名称							
	住所	(〒 -)						
	TEL	- -		FAX	- -			
職務	職名	行政組織上	直前	[[所属機関名及び]部局名]		[職名]		平成 _____ 年 _____ 月から
			現在	[[所属機関名及び]部局名]		[職名]		平成 _____ 年 _____ 月から
			予定	[[所属機関名及び]部局名]		[職名]		平成 _____ 年 _____ 月から
		災害活動上	平成 _____ 年 _____ 月から					
		階級	平成 _____ 年 _____ 月から					
		緊急消防 援助隊登録						
実務講習 ごとの 特記事項								
その他								

【入校受付日時】で記入すること
 ※ただし、年齢については、【H31.4.1現在】とする

様式3

実務講習申告書

○記入誤り・記入漏れが無いよう留意

○県航空隊所属等で区分が無い場合はチェック不要

受講希望コース等	危機管理・国民保護コース 第 8 回 (受講受付日：平成 31 年●月●日)		都道府県	○○県 ○H31.4.1時点の年齢を記入	資格区分	<input checked="" type="checkbox"/> 消防本部 <input type="checkbox"/> 消防学校 <input type="checkbox"/> 一般行政
本人	氏名	(ふりがな) しょうぼう だいがく 消防 大学		生年月日	昭和→平成 44年10月1日	
	住所	(〒182 - 8508)	東京都調布市深大寺東町 4-35-3		年齢	48 歳
	TEL	0422 - 46 - 1711		FAX	0422 - 46 - 1988	
公用の E-mail アドレス		shobodaigaku_soumu@soumu.go.jp				
所属機関	名称	(ふりがな) しょうぼうだいがくしょうぼうほんぶ 消防大学消防本部		○正式な名称を記入のこと【省略不可】 例) ◎◎広域行政事務組合消防本部 等 ○一般行政の場合は「◎◎県」、「◎◎市」等		
	住所	(〒100 - 8926)		東京都千代田区霞が関 2-1-2		
	TEL	03 - 1234				
職務	行政組織上	直前	平成 25 年 4 月から	〔所属機関名及び〕部局名 本部警防課	〔職名〕 主査	
		現在	平成 28 年 4 月から	〔所属機関名及び〕部局名 本部警防課警防係	〔職名〕 係長	
		予定	平成 31 年 4 月から	〔所属機関名及び〕部局名 総務県消防学校	〔職名〕	
	災害活動上	平成 年 月 日から	消防署指揮隊長	○現職で災害活動に従事する者は、災害活動上の職を記入すること (例) ●●中隊長、●●小隊長、隊員など ※高度救助・特別高度救助コース・NBC コース・航空隊長コースは記入もれに留意		
	階級	平成 24 年 4 月から	消防司令長	○緊急消防援助隊に登録されている者は、以下について記入すること ①指揮隊長コース ⇒ 登録部隊名及び役割 ②上記以外のコース ⇒ 登録部隊名		
緊急消防援助隊登録	(例) 指揮隊, 隊長					
実務講習ごとの特記事項	【共通】 ○危機管理・国民保護コース・自主防災組織育成コース・消防団活性化コースは、次の①～②の要件を記入すること(関係書類の添付でも可) ①申請者の所属が、各コースに係る業務を担当する根拠(組織関係規則の抜粋等) ②申請者が所属において、各コースに係る業務を担当する根拠(事務分掌の抜粋等) (例) ●●市●●規則第●条 …… (該当条文を引用のうえ関係箇所を下線を付すこと) H31年度●●市●●課事務分掌により、●●に関する業務を担当(※別添参照)					
	【消防本部・航空隊区分】 ○以下の場合、入校資格の要件を記入すること(関係書類の添付でも可) ①「受講受付日」時点で資格要件を満たす者 ⇒ 資格を満たす日及び資格要件の内容 ②指揮隊長コースのうち「交代要員等として指定される者」 ⇒ 交代要員等として指定される役割 ③高度救助・特別高度救助コース ⇒ 所属部隊得(予定含む)が装備する主な高度救助用器具の種類(整備予定含む) ※型式・型番等は不要 ④NBC コース ⇒ 所属部隊得(予定含む)が装備する主な NBC 対応資機材の種類(整備予定含む) ※型式・型番等は不要 ⑤航空隊長コース ⇒ 保有しているヘリコプターの機種及び台数 (①の例) 平成 31 年●月 事務分掌見直しにより●月から●●の業務を担当 (②の例) 平成●年●月より、●●の代替要員である (③④の例) ●●車、●●車、●●機材、●●測定器 等 (⑤の例) 機種●●：●●台、機種●●：●●台					
	【消防学校区分】 ○NBC コースは、NBC 災害対策業務に関する教科を担当する時期(予定含む) (H31 年度に従事する者は、H31 年度教育訓練計画及び事務分掌の添付でも可) (例) H32 年 4 月～H33 年 3 月消防学校派遣 ●●科担当予定(NBC に関する課程を担当)					
	【資格要件の職と同等以上の職にある者】 ※危機管理・国民保護コースのみ ○同等以上の職である旨を記入すること(関係書類の添付でも可) (例) 当本部においては、●●の職は●●(内部規定等の理由)により●●長と同等の職である					
その他	消防本部移転のため、●月●日から所在地が変更 新住所：〒…………… TEL：変更無し		その他申告したい事項があれば記入すること			

被服等サイズ表

本調査票は、全ての学科・実務講習について提出すること。

○ 学科・実務講習名

_____ 科・コース

○ 所属機関名

○ 氏 名

(1) 半袖Tシャツサイズ	
(2) 長袖Tシャツサイズ	
(3) 帽子（アポロキャップ）サイズ	
(4) 防寒衣サイズ	
(5) ケブラー手袋サイズ	

*** 本調査は、事務の都合上一律に実施しています。**

*** 学科・実務講習（コース）によっては、貸与・配布されない被服等があります。**

*** Tシャツのサイズは、S・M・L・LL・3L、防寒衣のサイズはS・M・L・LLで市販サイズと同様です。**

（男女別のサイズはありませんので、男性サイズを参考にしてください）

*** 帽子（アポロキャップ）のサイズは、次のとおりです。**

M : 56 cm～60 cm, アジャスター中心 58 cm

L : 58 cm～62 cm, アジャスター中心 60 cm

LL : 60 cm～64 cm, アジャスター中心 62 cm

4 入校経費

平成 31 年度における消防大学校の教育訓練の入校経費は次のとおり。

(単位：円)

教育課程	期・回	入校期間 (H31. 4. 1~H32. 3. 31)	入寮日数	(一財)消防防災科学 センター扱い分			指定業者 扱い分	振込 締切日 (H31. 4. 1~ H32. 3. 31)		
				小計	教材費	視察 調査費				
学 総合 教育	幹部科	57	6月11日(火)~7月26日(金)	46	115,000	101,000	14,000	85,100	6月6日(木)	
		58	8月19日(月)~10月4日(金)	47	115,000	101,000	14,000	86,950	8月14日(水)	
		59	10月9日(水)~11月27日(水)	50	115,000	101,000	14,000	92,500	10月4日(金)	
		60	1月9日(木)~2月27日(木)	50	115,000	101,000	14,000	92,500	1月6日(月)	
	上級幹部科	83	1月15日(水)~1月31日(金)	17	36,000	33,000	3,000	31,450	1月9日(木)	
	新任消防長・ 学校長科	26	4月16日(火)~4月26日(金)	11	27,000	22,000	5,000	20,350	4月11日(木)	
		27	5月13日(月)~5月23日(木)	11	27,000	22,000	5,000	20,350	5月8日(水)	
	消防団長科	75	8月26日(月)~8月30日(金)	5	27,000	23,000	4,000	9,250	8月21日(水)	
		76	11月18日(月)~11月22日(金)	5	27,000	23,000	4,000	9,250	11月13日(水)	
	学 専 科 教 育	警防科	105	6月5日(水)~7月24日(水)	50	114,500	107,000	7,500	92,500	5月31日(金)
106			10月17日(木)~12月6日(金)	51	114,500	107,000	7,500	94,350	10月11日(金)	
救助科		79	4月11日(木)~6月6日(木)	57	141,500	126,000	15,500	105,450	4月8日(月)	
		80	8月22日(木)~10月11日(金)	51	141,500	126,000	15,500	94,350	8月19日(月)	
救急科		81	9月17日(火)~10月18日(金)	32	132,000	127,000	5,000	59,200	9月11日(水)	
予防科		106	8月22日(木)~10月11日(金)	51	115,000	107,000	8,000	94,350	8月19日(月)	
		107	1月8日(水)~2月28日(金)	52	115,000	107,000	8,000	96,200	12月27日(金)	
危険物科		14	6月26日(水)~7月26日(金)	31	84,000	78,000	6,000	57,350	6月21日(金)	
火災調査科		37	6月5日(水)~7月24日(水)	50	244,000	235,000	9,000	92,500	5月31日(金)	
		38	10月17日(木)~12月6日(金)	51	244,000	235,000	9,000	94,350	10月11日(金)	
新任教官科		13	3月3日(火)~3月13日(金)	11	20,000	20,000		20,350	2月27日(木)	
現任教官科 (総務・予防)		3	3月2日(月)~3月6日(金)	5	12,000	12,000		9,250	2月26日(水)	
現任教官科 (警防)		3	3月9日(月)~3月13日(金)	5	24,000	24,000		9,250	3月4日(水)	
実 務 講 習	緊急消防 援助 隊	指揮隊長コース	21	4月15日(月)~4月25日(木)	11	30,000	25,000	5,000	20,350	4月10日(水)
			22	5月7日(火)~5月17日(金)	11	30,000	25,000	5,000	20,350	4月24日(水)
		高度救助・特別 高度救助	9	3月2日(月)~3月13日(金)	12	50,000	41,000	9,000	22,200	2月26日(水)
		NBCコース	9	2月4日(火)~2月26日(水)	23	63,000	58,000	5,000	42,550	1月30日(木)
	航空隊長コース	19	12月2日(月)~12月13日(金)	12	32,000	27,000	5,000	22,200	11月27日(水)	
	防災機 教管理 科・	危機管理・国 民保護コース	9	4月17日(水)~4月24日(水)	8	19,000	16,000	3,000	14,800	4月12日(金)
		自主防災組織 育成コース	15	5月27日(月)~5月31日(金)	5	11,000	11,000		9,250	5月22日(水)
	自主防災組織 育成短期コース		9	10月~11月						
			10	10月~11月						
	消防団活性化 推進コース		5	10月28日(月)~11月1日(金)	5	12,000	12,000		9,250	10月23日(水)
		6	1月20日(月)~1月24日(金)	5	12,000	12,000		9,250	1月15日(水)	
その他	女性活躍推進 コース	4	12月12日(木)~12月20日(金)	9	21,000	21,000		16,650	12月9日(月)	
	査察業務マネ ジメントコー	3	5月27日(月)~5月31日(金)	5	17,000	17,000		9,250	5月22日(水)	

【入校経費に関する問合せ先】

消防大学校庶務課

TEL : 0422-46-1711, FAX : 0422-47-9192

5 e-ラーニング学習推奨環境 (幹部科、警防科、予防科、NBC コース及び女性活躍推進コース)

e-ラーニングは消防大学校における教育課程の一部であることから、入校許可又は受講許可を受けた者は、入校・受講前に、教育カリキュラムに定められた個別学習内容を確実に修了する必要がある。

このため、入校・受講許可者の任命権者は、当該入校・受講許可者に対するソフト面（学習時間の確保・職場の理解等）及びハード面（インターネット接続環境、パソコン、学習室等）の学習環境の用意が必要である。

(1) 推奨環境

インターネットを利用して、e-ラーニングを円滑に行うための、ハード面の推奨環境（必要スペック）は次のとおり。

- ① インターネット環境
インターネット回線：光ケーブル・CATV・ADSL等のブロードバンド回線
- ② システム
 - ア OS：Microsoft Windows / 7 / 8.1/ 10
 - イ 閲覧ソフトウェア（ブラウザ）：Microsoft InternetExplorer 11 以上
 - ウ **プラグイン：Adobe FlashPlayer 8 以上**（インターネットから無料でダウンロード可能）
 - エ CPU：PentiumIV 2GHz 以上
 - オ メモリ：2GB 以上推奨
 - カ ディスプレイ解像度：1024 × 768 以上
 - キ その他：ブラウザの設定で「java スクリプト」、「Cookie」を有効に設定し、「ポップアップブロック」を一部無効に設定することができること。

(2) 教材閲覧用ソフトウェアについて

- ① 教材の閲覧には、閲覧用ソフトウェアの追加機能（プラグイン）である Adobe FlashPlayer8 以上が必須。
- ② **ネットワークのセキュリティ設定によっては閲覧できない場合があるので**、詳細は各所属団体のシステム担当者等に確認すること。

(3) その他

詳細については入校許可者及び受講許可者に別途連絡するとともに、個別に詳細環境調査を実施する。

6 その他

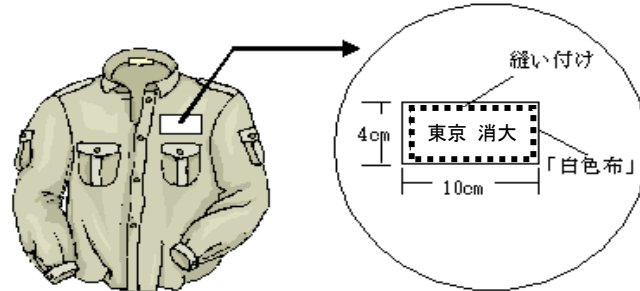
(1) 携行品

学科・実務講習ごとの主な携行品は下表のとおりであるが、詳細は、入校・受講前に、消防大学校から連絡する。

学科・実務講習		服 装										その他				
		制服・制帽・短靴・靴下	私服	活動服 ※3			訓練用編上げ靴	防火長靴	運動靴	訓練用皮手袋	雨衣	トレーニングウェア	健康保険証・認印	名刺	洗面用具等身の回り品	消防関係の法令集
				活動服	救助服	救急服										
※1	※2	※3										※7	※8	※9		
学 科	総合教育	幹部科	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○		
		上級幹部科	○	○	○				○	○	○	○	○	○		
		新任消防長・学校長科	○	○	○		○		○	○	○	○	○	○		
		消防団長科	○	○								○	○	○		
	専科教育	警防科	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○		
		救助科	○	○		○(※4)	○	○	○	○(※6)	○	○	○	○		
		救急科	○	○			○		○			○	○	○		
		予防科	○	○	○		○		○	○	○	○	○	○		
		危険物科	○	○	○		○	○	○		○	○	○	○		
		火災調査科	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	
		新任教官科	○	○					○	○			○	○		
		現任教官科(総務・予防)	○	○					○				○	○	○	
	現任教官科(警防)	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○			
	実務講習	緊急消防援助隊教育科	指揮隊長コース	○	○	○				○			○	○	○	
高度救助・特別高度救助コース			○	○		○	○		○	○	○	○	○	○		
NBCコース			○	○	○(※5)		○		○	○	○	○	○	○		
航空隊長コース			○	○	○							○	○	○		
危機管理・防災教育科		危機管理・国民保護コース		○					○			○	○	○		
		自主防災組織育成コース		○					○			○	○	○		
		自主防災組織育成短期コース	別途通知													
		消防団活性化推進コース		○					○			○	○	○	○	
その他	女性活躍推進コース	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○			
	査察業務マネジメントコース	○	○					○				○	○	○		



- ※1 制服は、学科の座学授業及び訓練礼式時に着用するものであり、以下の点に留意
- ① 制服は、所属機関が指定するものとする。なお、女性については原則スラックスとすること
 - ② 制服の袖章、襟章及び肩章は、着脱が可能であれば予め外しておくこと
 - ③ 4月及び11月から3月までは冬服（白ワイシャツ着用）とし、5月から10月までは夏服とすること
 - ④ 短靴は、黒系統の色のこと
 - ⑤ 靴下は、黒若しくは紺系統の色で無地のもの（ワンポイント可）とすること
- ※2 私服は、主に校外研修及び実務講習の座学授業時に着用するものであり、以下の点に留意
- ① 男性は背広、ワイシャツ（白等）及びネクタイ着用を標準的な私服とし、女性はこれに準じること
 - ② 5月から10月まではクールビズ期間とし、ネクタイ及び背広は着用せず軽快な服装とすること
なお、ワイシャツは半袖可とし、ポロシャツは不可とする。
 - ③ 校外研修時は、A4サイズの資料が入るビジネスバックを持参すること
- ※3 活動服は、実技授業時に着用するものであり、左胸ポケット上部に都道府県名及び姓を表示すること



- ※4 訓練用編上げ靴等を入れるバッグ類を持参すること
- ※5 所属部隊の種別に応じた活動服を持参すること
- ※6 訓練用皮手袋は2双以上持参すること
- ※7 名刺交換を行うため、100枚以上必要であること
- ※8 季節の変わり目に入校する場合等、体温調節のための衣服等を用意することが望ましいこと
- ※9 「消防基本六法」など、一般的な消防関係法令がひととおり掲載されているものであればよいこと

(2) 入校・受講受付等

消防大学校における寮生活においては次の点に留意すること。なお、詳細については、学科・実務講習の開催ごとに個別に事前案内するとともに、入校・受講日においても説明する。

- ① 入校・受講者は、入校・受講受付日に消防大学校内の学生寮（不二寮）に入寮し、学科・実務講習の教育期間満了日（卒業日・受講修了日）に退寮すること
- ② 入校・受講受付時間は、当日の10時00分から11時00分まで（1時間）
- ③ 卒業・修了日の解散時間は次のとおり
 - ア 学科（新任消防長・学校長科、新任教官科及び現任教官科を除く）：12時00分（正午）
 - イ 新任消防長・学校長科、新任教官科、現任教官科及び実務講習：15時00分
- ④ 消防大学校に携行品を配送する場合は、消防大学校への配送日時を「入校・受講受付日の午前」に指定するとともに、学科・実務講習名を必ず記入すること
- ⑤ 消防大学校構内への車両の乗り入れ（入寮及び退寮に伴う送迎等）は禁止であること

【 平成 31 年度 特別研究生に関する教育訓練実施要領 】

1 概要

(1) 目的

消防学校における教育訓練についてカリキュラムの見直し又は教材の作成のための研究を行う。

(2) 受講期間・受講時期

概ね 2 週間から 4 週間の期間とする。なお、詳細は協議の上調整する。

受講資格

消防学校において、教育訓練に従事する者

受講定員

若干名

研究の方法

消防大学校の教官の指導のもとに、設定した研究課題について、次の方法で研究を行うものとする。

- ① 消防大学校の授業への参加及び教育実習
- ② 消防学校、消防本部、消防庁、研修機関等からの情報収集
- ③ その他

(6) 修了証の交付

所定の研究を修了した場合には、修了証を交付する。

(7) 受講経費

別途、調整の上決定する。

2 受講手続

消防学校長は消防大学校長に対し、あらかじめ設定した受講期間の初日の 2 か月前までに受講すべき者を申請し、かつ、次の関係書類を提出する。

(1) 履歴書（3「入校・受講手続き」の様式 1 を使用すること）

(2) 研究計画

研究課題とする教育訓練のカリキュラム又は教材について、現状及び見直しの方向又は教材作成の方向を記すこと。

3 生活、携行品

携行品は、私服、運動靴、トレーニングウェア、保険証、認印、名刺及び洗面用具等身の回り品のほか、参加する授業に応じて、当該学科及び実務講習の例による。

このほか、生活の詳細は実務講習の例による。

【 消防大学校へのアクセス 】

<所在地>

〒182-8508 東京都調布市深大寺東町 4-35-3

TEL : 0422-46-1711 (代表) , FAX : 0422-47-9192

<不二寮(学生寮)連絡先>

TEL : 0422-47-3066, 0422-47-3068

<アクセス>

1 JR中央線、京王井の頭線 【吉祥寺駅】ご利用の方

吉祥寺駅公園口 6 番乗場から深大寺行き、野ヶ谷行き、または調布駅北口行きの小田急バスに乗車し 20 分。消防大学前下車。

2 JR中央線 【三鷹駅】ご利用の方

三鷹駅南口 8 番乗場から野ヶ谷行きの小田急バスに乗車し 20 分。消防大学前下車。

3 京王線 【仙川駅】ご利用の方

仙川駅 3 番乗場から三鷹駅行き、または吉祥寺駅行きの小田急バスに乗車し 10 分。杏林大学病院前下車徒歩 7 分。

